

科目ナンバリング		U-LAS41 10001 PJ49							
授業科目名 <英訳>	スポーツ実習ⅠA [アダプテッド・スポーツ] Sports I A [Adapted sports]				担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授 江川 達郎			
群	健康・スポーツ科目群		分野(分類)	スポーツ実習		使用言語	日本語		
旧群	D群	単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	実習(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2024・ 前期集中		曜時限	集中 未定		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
<p>アダプテッド・スポーツとは、ルールや用具を改良することにより、障害の有無や身体活動能力、年齢にかかわらずスポーツ活動を楽しむことができるように工夫・適合(adapt)されたスポーツのことである。</p> <p>本授業では、障害等のある学生(疾患や怪我等による一時的な障害、その他の心身の不調を含む)を対象に、履修者の障害等の特性・程度に合わせたメニューを作成し、個別あるいは少人数でのスポーツや運動トレーニングを実施する。積極的に体を動かすことにより心身機能の充実をはかるとともに、生活の中に十分な身体活動を根付かせ、各自の状況に合った健康づくりに生かすことを目指す。</p> <p>加えて、障害者スポーツに興味がある一般学生の履修も可能である。一般学生に関しては、障害者スポーツの背景知識および現場実習を交えながら障害療育を目的とした運動・スポーツの活用法について学習していく。</p>									
【到達目標】									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・心身の健康に運動実施が有効であることを体感する。</li> <li>・自身にadaptした運動の実施方法を見出し、主体的に運動を実施する意欲を身につける。</li> </ul>									
【授業計画と内容】									
<p>履修希望者に対しヒアリングを行い、障害等の特性・程度、体力レベルに応じたスポーツあるいは運動トレーニングを実施する。 実施日程は履修者の希望に応じて、集中開催あるいは毎週開催など柔軟に応じる。</p>									
【授業内容例】									
(1) ウォーキング・ジョギング・サイクリング 学外での散策や学内グラウンドでの実施									
(2) 水泳・水中ウォーキング 学内プールあるいは学外施設(京都市障害者スポーツセンター等)にて実施									
(3) 体力トレーニング 学内あるいは学外施設(京都市障害者スポーツセンター等)にて実施									
(4) 従来型スポーツ バレーボール・バドミントン・サッカー・フットサル・バスケットボール・卓球などの種目を学内体育館やグラウンドにて実施									
(5) レクリエーションスポーツ									
スポーツ実習ⅠA [アダプテッド・スポーツ](2)へ続く									

スポーツ実習ⅠA [アダプテッド・スポーツ](2)

ペタンク・フライングディスク・ファミリーバドミントン・ショートテニスなどの種目を学内体育館やグラウンドにて実施

(6) 障害者スポーツ

ポッチャ・車いすハンドボール・スポーツ吹き矢・射撃・トランポリン・サウンドテーブルテニスなどの種目を学内あるいは学外施設（京都市障害者スポーツセンター等）にて実施

**[履修要件]**

・本科目は障害等のある学生（疾患や怪我等による一時的な障害、その他の心身の不調を含む）の履修を優先します。ただし、障害等のある学生の履修状況に応じて、障害療育の方法を学びたい一般学生の履修も認めます。

・障害等のある学生のスポーツ実習に際しては、希望する実習科目の履修が可能となるよう、学生総合支援センター障害学生支援ルーム（<https://www.gssc.kyoto-u.ac.jp/support>）との連携のもとに、障害等の状況に合わせた支援・調整を行います。本科目は、支援・調整によっても、希望する実習科目の履修が困難な場合、あるいは本科目以外にスポーツ実習の履修が困難と考えられる場合に、開講を検討します。

・履修内容は、履修希望者のヒアリングに基づき、障害学生支援ルームと協議の上で判断します。また、必要に応じて、所属学部や健康科学センター等とも協議します。

・障害の有無にかかわらず、履修希望者はあらかじめ学生総合支援センター障害学生支援ルームに申し出てください。

**[成績評価の方法・観点]**

出席状況と実習への取り組みの積極性を総合的に評価する。

**[教科書]**

使用しない

**[参考書等]**

（参考書）

矢部京之助 他 『アダプテッド・スポーツの科学』（市村出版）ISBN:978-4-902109-01-6

**[授業外学修（予習・復習）等]**

- ・個々の心身の状態を十分に把握しておくこと。
- ・様々なスポーツを観戦し、スポーツ実施への関心を深めておくこと。

**[その他（オフィスアワー等）]**

スポーツ実習の履修には保険への加入が必要です。原則として「学生教育研究災害傷害保険」（学研災）および「学研災付帯賠償責任保険」（付帯賠償）に、留学生は学研災および「学生賠償責任保険」（学賠）に加入して、授業に参加してください。